

# 一般質問

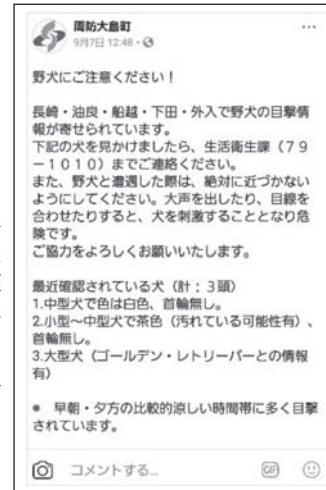
11月13日  
知りたい！  
聞きたい！



吉村 忍 議員

町からの情報発信について  
『ホームページ、SNSでの  
頻繁な情報発信を』

**問** 平成25年6月議会において議論が行われ、その後周防大島町でもフェイスブックページが誕生した経緯があるが、昨今では更新回数が少なく、町発信の情報が少ない。フォロワー数や、いいね！の数にこだわらず、世界中に周防大島町の情報を頻繁に発信することで、周防大島町のPRにつながり、交流人口の拡大の一つの要素となると思うが、今後のホームページやフェイスブックページの活用方法は。  
**答** 指摘のとおり、担当課において情報発信を行う習慣が十分に根付いていない状況にある。



タイムリーな情報発信を行えるよう、今一度、情報発信ツールの操作説明と活用を周知するとともに、職員の意識改革に努め、町と町民の情報の共有化を推進していきたいと考えている。

サザン・セト大島ロード  
レース大会運営について

**問** ナンバーカード、計測チップ、参加賞、大会プログラム等の事前送付は、他の市町等のロードレース大会では既に実施されており、ランナーはストレスなくスムーズにスタートラインに立つことができ、受付を設ける必要がなくなり、スタッフの仕事も軽減されると考えられるが、どのようにお考えか。

**答** 200万円以上の経費が増加することになるため、参加料を引き上げること、町の負担を増やして対応することも困難と考える。

**問** 本大会の制限時間は、一般ランナーにとつてはかなりハードルの高いものと感じられる。これは、交通規制の時間とスタート時刻やスタート順の影響によるものではないか。

**答** 道路交通規制時間の中で、安全を第一にスタート時間を設定しているが、ハーフマラソンの制限時間が他の大会と比べると少し厳しいという意見があり、次回大会では5kmのスタート時刻を前倒しして、それぞれの種目で制限時間が延ばせるように変更する予定。

**問** 全国でもトップクラスの大会をめざすために、ランナーの意気を高揚させるようなスタートセレモニーの導入や、記録証の汗・雨濡れ対策等、他の大会の良きところを取り入れ、ランナースファーストでの大会運営を検討しては。

**答** 現在もゲストランナーがハンドマイクでスタート前の選手を激励しているが、今後は場内放送を使用して行う。記録証の汗・雨濡れ対策は、次回から準備する。今後も反省会や企画委員会において、提案や助言による課題について検討を行う。

スポーツ・文化活動への  
さらなる支援について

**問** 施設及び施設付帯設備の使用料金の免除や、全国大会等出場時のさらなる助成を求める。

**答** 本町における社会教育の基本方針は、「だれでも、いつでも、どこでも」学び、ふれあい、楽しめる社会教育を推進し、その重点施策としては、多様なライフスタイルに対応した生涯学習の推進。スポーツの振興では、地域スポーツ活動の充実を掲げており、全国大会を目指す競技者及び文化活動者が懸命に努力している姿には頭が下がる思いであるが、社会教育では幅広い年齢層へのスポーツ・文化への推進普及が大切であると考えている。